

## 振替帳入力の手引き

振替帳は、「現金」「電子マネー」「普通預金」の入金・出金(残高の増減)を伴わず、かつ「クレジットカード」を使用しない取引を入力します。(クレジットカードを使用した場合は「クレジットカード」に入力します)

家庭では、一般的に以下のような取引が発生した場合、振替帳を利用します。

- ①負債(クレジットカードを除く、住宅ローン、その他借入金、未払金、その他負債などの借入金)で資産を購入した場合
- ②負債(クレジットカードを除く、住宅ローン、その他借入金、未払金、その他負債などの借入金)で消費を行った場合
- ③クレジットカードの決済時に割引(割り戻し)が発生した場合
- ④資産の配当益が発生した場合
- ⑤資産の評価益(又は損)が発生した場合
- ⑥資産の売却益(又は損)が発生した場合
- ⑦定期性預金、その他預金に受取利息が発生した場合
- ⑧遺産や贈与を「現金」「普通預金」以外で受け取った場合
- ⑨商品券等の通貨代用証券を受け取った場合や商品券を使用して消費を行った場合(ただし、商品券等の通貨代用証券を「現金」とは別の資産科目、たとえば「その他資産」で管理している場合に限る)

①日付	②内容	③金額	④左方	⑤右方
			⑥登録	⑦クリア

①日付：日付のプルダウンメニューをクリックするとカレンダーが表示されます。カレンダーから入出金のあった日を選択すると、日付が入力されます。

②内容：振替帳を利用する取引内容を直接入力します。

③金 額：消費税込みの取引金額を直接入力します。

④左 方と⑤右 方：左方・右方のプルダウンメニューをクリックすると科目一覧が表示されます。次項の「振替帳の科目入力のルール」を参考にして、科目を選択します。該当科目をクリックすると科目が入力されます。

科目の入力を間違えたときは、正しい科目を選び直してクリックすると、正しい科目が入ります。

（注）

科目選択の組み合わせが正しい場合でも、左方と右方の選択が間違っていると、金額を増加させたいのに減少したり、減少させたいのに増加したりします。

以下の「■振替帳の科目入力のルール」と「■振替帳入力の具体例」を参照して、左方・右方を正しく選択するようにしましょう。

⑥登 録：入力が済むと、『登録』ボタンをクリックできる 状態になり、『登録』ボタンをクリックすると、下の一覧表に入力内容が追加表示されます。

⑦クリア：入力間違いをした場合、行全部を消去する場合に使用します。

訂正・複写・削除：

一覧表から、「訂正・複写・削除」したいデータがある場合には、その行の「訂正・複写・削除」ボタンをクリックすると、その行に記入されたデータの「訂正・複写・削除」ができます。

#### ■振替帳の科目入力のルール

振替帳の科目入力に関しては、左方（ひだりかた）と右方（みぎかた）の選択方法に運用ルールがあります。

（１）「資産科目」・「消費科目」を入力する場合

- ・左方を選択すると資産科目・消費科目の金額が増加します
- ・右方を選択すると資産科目・消費科目の金額が減少します

（２）「負債科目」・「正味財産科目」・「収入科目」を入力する場合

- ・左方を選択すると負債科目・正味財産科目・収入科目の金額が減少します
- ・右方を選択すると負債科目・正味財産科目・収入科目の金額が増加します

## ■振替帳入力 of 具体例

(例1) オートローンで150万円の自家用車を購入した場合

日付(購入日)、内容(車購入)、金額(150万円)

左方「資産－車両」/右方「負債－その他借入金」

(例2) 教育ローンで入学金20万円を支払った場合

日付(支払日)、内容(教育ローン)、金額(20万円)

左方「消費－教育費」/右方「負債－その他借入金」

(例3) マンションの時価評価額(資産価値)が80万円下がった場合

日付(時価評価日)、内容(時価の下落)、金額(80万円)

左方「特別消費－資産評価損」/右方「資産－マンション」

(例4) 50万円で購入した株式を45万円で売却したときの差額5万円の売却損の処理方法

日付(売却日)、内容(株売却損)、金額(5万円)

左方「特別消費－有価証券売却損」/右方「資産－有価証券(株式)」

(注:株式の売却代金45万円は「普通預金」の入力画面で入金処理します)

(例5) 有価証券の時価が3万円値上がりした場合

日付(時価評価日)、内容(株時価値上がり)、金額(3万円)

左方「資産－有価証券(株式)」/右方「特別収入－資産評価益」

家庭決算書2022

ファイル(F) 入力(I) 設定の変更(C) 家庭決算書(A) ウィンドウ(W) ヘルプ(H)

入力処理

現金  
電子マネー  
カードポイント  
普通預金  
クレジットカード  
振替帳  
家庭決算書  
月次家庭決算書  
分析  
科目月別残高

振替帳

日付 内容 金額 左方 右方

05/05 05/05 ¥0

登録 クリア

降順表示 振替帳入力の手引き 科目一覧(財) 科目一覧(消)

日付	内容	金額	左方	右方	訂正	複写	削除
05/05	株時価値上がり	¥30,000	有価証券 / 株式	資産評価益	訂正	複写	削除
05/04	株売却損	¥50,000	有価証券売却損	有価証券 / 株式	訂正	複写	削除
05/03	時価の下落	¥800,000	資産評価損	マンション / マンション	訂正	複写	削除
05/02	教育ローン	¥200,000	その他生活費 / 教育費	その他借入金	訂正	複写	削除
05/01	車購入	¥1,500,000	車両 / 車両	その他借入金	訂正	複写	削除

## ■商品券の取り扱いについて

お米券や図書カード等の商品券は、現金等価物（通貨代用証券）として処理すべきものですが、「現金」と区分して扱ったほうが管理しやすいと思います。

家庭決算書では特に科目を設けておりませんので、「初期設定」の「その他資産」の項目に「商品券」という科目を設定されて、使われるとよいと思います。

（例１）現金５，０００円で商品券を購入した場合の処理方法

「現金」入力画面で、相手科目に「資産－その他資産（商品券）」を選択し、代金５，０００円を出金処理します。

日付	内容	相手科目	入金(増)	出金(減)	残高	訂正	複写	削除
02/01	商品券購入	その他資産 / 商品券		¥5,000	¥95,000	訂正	複写	削除

（例２）商品券１０，０００円分をプレゼントされた場合の処理方法

「振替帳」入力画面で、金額１０，０００円を入力し、左方「資産－その他資産（商品券）」／右方「特別収入－その他特別収入」を選択します。

（例３）商品券で２，０００円の本を購入した場合の処理方法

「振替帳」入力画面で、金額２，０００円を入力し、左方「日常生活費－新聞図書費」／右方「資産－その他資産（商品券）」を選択します。

日付	内容	金額	左方	右方	訂正	複写	削除
04/03	書籍	¥2,000	日常生活費 / 新聞図書費	その他資産 / 商品券	訂正	複写	削除
04/01	入学祝	¥10,000	その他資産 / 商品券	その他特別収入	訂正	複写	削除